

市民ネットワーク 議会速報

平成 23 年
千葉市議会第 4 回定例会
11 月 28 日～12 月 15 日



市議会議員
山田京子 湯浅美和子

いろいろな計画づくりがめじろ押し!

平成 24 年度当初予算では、市税収入が減収となる見通しで、生活保護費等扶助費の増加や、介護、防災などの対策が求められ、110 億円の収支不足が見込まれています。当分厳しい財政状況が続きます。

第 1 次実施計画は事業を厳選

予算編成の方針としては、財政健全化プランなどを進めつつ、事務事業のさらなる見直し、また新基本計画の第 1 次実施計画(24(26 年)は、事業を精査し、地域経済の活性化や地域活動の推進など、必要な分野には特別枠を設けて重点的に予算配分をする、とのこと。290 事業、おおむね 1 千億円で、かなり絞り込まれています。

自治体の計画行政、市民の参加はどうか?

自治体は、行政活動の枠組みや方向性を示すため、多種多様な計画を策定しますが、策定にかなりのエネルギーを割いています。最近では、計画策定過程への市民の参加を促すため、パブリックコメントなどの手法が取られています。市民の側に参加意識がそれほど高まっている、とは言えません。しかし、こういった計画は私たちの生活に実に密接に関わっているのです。例えば、ごみ処理基本計画では有料化の問題、高齢者保健福祉計画では介護保険料など。

今議会でも、実施計画をはじめいくつもの計画を質問に取り上げました。

年末年始はパブコメにトライ!

行政の計画は、所管課で練り上げパブコメ作業に入るため、「意見を出すのが難しい」と

いう声も。しかし、多くの市民が関心を持ち意見を出すことが行政に緊張感を持たせ、よりよい計画作りとその執行につながります。この年末年始は時間をつくってパブコメに挑戦してはいかがでしょう。次のものへの意見が求められています。

「市営住宅長寿命化・再整備計画」「地球温暖化対策実行計画」「水道事業経営計画」「新千葉市立病院改革プラン」「資産経営基本方針」。詳しくは↓ http://p.tl/j_Wq

市民ネットワークでは、パブコメへの意見を皆さんと検討する勉強会を開いていきたいと考えています。興味のある方は、お問い合わせください。

策定(改定)中の主な計画

障害福祉計画、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
新病院改革プラン、病院再整備基本構想
国際化推進プラン、新世紀ちば健康プラン
食育推進計画、高齢者保健福祉推進計画(介護保険事業計画)
総合交通政策、市立海浜病院再整備基本計画
地域防犯計画、新みどりと水辺の基本計画
地域防災計画、橋梁長寿命化修繕計画(モノレール編)
消費生活基本計画、道路の整備に関するプログラム
住生活基本計画、市営住宅長寿命化・再整備計画
農業推進行動計画、田園環境整備マスタープラン
下水道長寿命化計画、下水道総合地震対策計画
地域経済活性化戦略、雇用創出マスタープラン
森林整備計画、庁内情報システム最適化計画
DV防止基本計画、地球温暖化対策実行計画
消防局中長期計画、住民情報系システム刷新計画

このほかにも現在、「債権管理に関する基本方針」や「千葉市資産経営基本方針」、「水道事業経営計画」等の策定も進んでいます。

補正予算の目玉は耐震化

なぜ遅れているのか?

23 年 4 月 1 日時点で、政令市平均 86.4%、千葉県平均 71.6% に比べ、千葉市 70% と低い耐震化率です。これは学校の改築に合わせようとしていたこと、体育館は軽量のため壊れにくいと想定していたためです。

学校の耐震化が 1 年前倒しに!

東日本大震災を受けて、国の補正予算がつき、平成 27 年度完了予定だった市内小・中・高等学校、特別支援学校の耐震化を 1 年前倒しします。今回は校舎の耐震補強計画・実施設計に 2 億 9500 万円、体育館の耐震診断・実施設計に 2 億 2600 万円が予算化されました。

大地震が起こる前に!

耐震化の完了が 1 年前倒しになったのは喜ばしいことですが、24～26 年度までに 141 棟の校舎と、65 棟の体育館の耐震化を進めなければなりません。体育館の工事だけでも 1 棟 3 千～4 千万円の費用がかかります。財政難の千葉市ですが、避難所にもなる学校の耐震化は最重要課題とすべきです。